

質 問	回 答
<p>1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等について</p> <p>本学施設部における建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する運用状況及び契約方法について説明を行った。</p> <p>2. 審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果および抽出案件の審議について</p> <p>1) 一般競争方式：政府調達に関する協定適用対象工事</p> <p>①大阪大学（吹田）医学動物実験施設改修その他機械設備工事</p> <p>2) 一般競争方式：政府調達に関する協定適用対象工事を除く</p> <p>②大阪大学（吹田）歯学部本館B棟直流電源装置改修工事</p> <p>・予定価格に対して、落札者以外の応札者も半額に近い金額で入札がある。この点について、何か調査や検討はなされたか。</p> <p>・年々安価になっているということであれば、今後予定価格をどのように積算するか、検討した方が良い。</p> <p>・落札者が提出している資料で安価に材料供給が受けられるという説明があるが、他の業者と比べてどの部分で下落しているのか、具体的な説明をしてほしい。</p> <p>・品質の面で、低価格でも問題はないのか。単純に同等品で金額が違う、という理解で良いのか。</p>	<p>(特に意見なし)</p> <p>(特に意見なし)</p> <p>・各メーカーから見積もりを取り、毎年価格調査をしたうえで査定率を決定しているが、直流電源装置については年々安価になってきている傾向がある。</p> <p>・今後検討する。</p> <p>・材料価格において非常に差が出たと考える。本件においては直流電源装置という材料費が工事費の中で大きく占めているため、価格差につながったと思われる。</p> <p>・メーカーに関しては各業者同等のものを選定されているので、品質に関しては同スペックとなっている。</p>

質 問	回 答
<p>③大阪大学（吹田他）コンベンションセンター等 照明更新工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札業者の割合が高いということは、各者が低入札で応札したということか。 ・予定価格そのものは実勢と比べて高くないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。 ・本件は電気工事としては難易度が低く、業者にとっては魅力的な工事である。そのため、価格競争が働いたと考えられる。 ・我々の設計図書は国の基準を用いて作成している。我々もその基準に従っているかということは現場で確認をしながら設置している。工事の品質については金額が安価になったからといって質の悪い物が入ったというわけではないことは確認している。一方で、本件は物の購入費が大きなウェイトを占めているため、メーカーとの交渉も有利に進められる状況であり、器具の価格が労務費を上回る場合にはこういった傾向が見られる。
<p>④大阪大学（吹田）医学部附属病院多用途型トリアージ施設新営工事</p>	<p>（特に意見なし）</p>
<p>⑤大阪大学（吹田）感染症共同実験棟新営その他設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手先となった者と2位だった者はいつも同じ順位なのか。特定先の業者の方が優れているということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度行われた別案件の評価では、特定先の業者はそこまで良い点数ではなかった。順位については案件による。
<p>⑥大阪大学（吹田）歯学部本館C・D棟改修その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積回数が14回というのは、他の事例と比べて比較的好くあることなのか。 ・随契だからそういったことになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くはないが、事例としてはある。昨年度も12回というものがあつた。業者の方も、契約したいという意欲があると、ついてきてくれる。 ・見積合わせの途中で業者が辞退、ということになると、業者の方も契約が取れない、大学の方

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不落随契の見積合わせは入札日程のどの段階で実施されているのか。 ・ 1 回目の入札金額から最終的に約 4000 万円のコストダウンとなっているが、この 4000 万円の主な内容はどんなものだったのか。 ・ 値引きの内容について、お互いの合意があって成立しているものではないのか。 ・ 金額が下がったことによって、品質は問題ないのか。 ・ 業者がこの金額でも契約しようとなった動機など、把握していれば聞かせていただきたい。 	<p>も不落となってしまう。業者の思惑と大学側の都合もあり、業者が頑張ってくれた、ということだと認識している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見積合わせについては、開札後、業者に不落随契に応じるかどうかの意思確認を行い、応じてもらえるということであれば、実際の見積合わせの日程調整を行っている。 ・ 不落随契の場合は提出された見積金額に対する内訳の提出義務がないため、業者側において積算内訳というものはあるだろうと思うが、把握はしていない。 ・ 契約については総価契約であるため、示された金額で、大学が提示した図面のとおり施工していただく、という履行義務は当然生じる。ただし、本件については低入札ということではなかったため、提示された金額に対する内容の詳細な調査、といったことまでは行っていなかった。 ・ 当然、契約後は工事監理として大学側できちんと監理をして品質を担保している。 ・ 品質に関しては我々の方でしっかりとチェックをしている。また下請契約のところで、しわ寄せが下請に回らないように、ということも施工するうえで見て行く必要がある。本件のような場合も現場の中で下請契約について担当者が確認を行うことは可能であるため、元請契約の中で下請にきちんと支払われているか、ということは併せて確認していきたい。 ・ 本件に関して、業者の思惑については把握していない。おそらく現在の受注状況や今後の受注も含めて総合的に判断されたものと理解している。

質 問	回 答
<p>3. 指名停止等の措置状況について</p> <p>令和元年度に措置した指名停止の案件は1件あった旨を報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札価格の積算についての過失というのは、具体的にはどういったことか。 <p>4. その他</p> <p>再苦情処理については申立てが無かった旨を報告</p> <p>談合の疑義事実案件の無かった旨の報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍という状況下で、工事についての最近の状況を聞かせていただきたい。 <p>(次回の開催について)</p> <p>令和3年4月から翌年3月までの案件を審議対象とし、来年9月～10月頃に開催することについて了承いただいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、積算に入れるべき項目が抜けていた。したがってその金額で契約すると業者が赤字となるため、辞退された。 <p>(特に意見なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国で新型コロナウイルスの感染が始まり、その影響で中国の工場が閉鎖となり、主に温水洗浄便座の生産ができなくなった。そのため製品が手に入らない、という状況が昨年度の当初頃にあった。最近でも、通常であれば1週間程度の納期であるものが3週間～1ヶ月程度かかる見込みとなっている状況である。さらに材料の価格が高騰しており、木材、鉄の価格が上がってきている。ただし、大学においてその影響で事業に支障がでていないということはない。